

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Mowital

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給元

会社名

住所

株式会社クラレ  
東京都千代田区大手町1-1-3  
Chiyoda-ku, Tokyo 100-8115

日本

+81-3-6701-1453

電話番号

メールアドレス

https://www.kuraray.co.jp/inquiry

緊急連絡電話番号

+81-3-6701-1422 or +81-3689-08677 (アクセスコード: 334674)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

産業用途に限られる。ガラス、プラスチック、木材、セラミック、金属、布、織物繊維およびそれらの組み合わせとの積層物。

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

GHS分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

絵表示

なし。

注意喚起語

なし。

危険有害性情報

除外 (製品)。

注意書き

安全対策

産業衛生に気を配る。

応急措置

特別な応急処置の方法はない。

保管

避けるべき物質の近くに保管しない。

廃棄

廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

GHS 分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

この製品は成形品であり通常の使用条件下で危険有害性化学物質を放出するとは予想されない。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

非常事態の概要

現行の法規制の下では健康あるいは環境に対して危険であるとはみなされていない。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

官報公示整理番号

化学名又は一般名

CAS番号

化審法

安衛法

含有量 (%)

ポリビニールブチラール

68648-78-2

(6)-708

(6)-708

>99

慣用名又は別名

この安全データシートの対象となる製品銘柄については下記を参照：  
Thin Film 050, Thin Film 075, Thin Film 100, Thin Film 250

化学式

(C4H8O, C4H6O2, C2H4O)<sub>x</sub> (68648-78-2)

組成情報

成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所へ移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

通常の条件で、用途の範囲内で使用している場合、本物質は健康に対するリスクをもたらさない。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

症状にあった治療を施す。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧。周辺の物質の火災に適した消火剤を使う。泡消火剤。乾燥粉末。二酸化炭素 (CO2)

使ってはならない消火剤

棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、使ってはならない。

火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。
消火活動を行う者の特別な保護 具及び予防措置	消火作業のための呼吸用保護具の選択：作業現場に示されている一般的な火災注意事項に従う。 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。燃えるが簡単に発火しない
<b>6. 漏出時の措置</b>	
人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	適切な保護具を着用する。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	すべての大きな漏出について環境担当管理者に通知する。
封じ込め及び浄化の方法及び機 材	物質を掃き集め、適切な容器に入れて廃棄する。
二次災害の防止策	全ての適用法律に基づき掃除する。
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
<b>取扱い</b>	
技術的対策（局所排気、全 体換気等）	局所排気が望ましい。
安全取扱注意事項	産業衛生に気を配る。適切な個人保護具を着用すること（セクション8を参照）。取り扱った 後、手を洗うこと。
接触回避	強酸化剤。強酸。より詳しい情報については第10項を参照。
衛生対策	本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染 物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
<b>保管</b>	
安全な保管条件	混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。涼しい、乾燥した、換気の良 い場所に保管すること。製造者の推奨事項を読み、それに従う。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。
<b>8. ばく露防止及び保護措置</b>	
許容濃度等	標準監視手順に従ってください。
暴露限界値	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されて いる場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ 。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。
<b>保護具</b>	
呼吸用保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
眼、顔面の保護具	サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>	
物理状態	固体。
形状	フィルム。
色	無色。
臭い	無臭。
臭いの閾値	該当しない。
融点／凝固点	135 - 210 °C (275 - 410 °F)
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当しない
可燃性	データなし。
引火点	該当しない。
自然発火点	> 380 °C (> 716 °F)
分解温度	データなし。
pH	該当しない。
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度（水）	水に不溶。
n-オクタノール／水分配係 数（log 値）	データなし。
蒸気圧	該当しない。
密度及び／又は相対密度	
密度	データなし。
相対ガス密度	該当しない。
粒子特性	データなし。

## その他の情報

### 粉塵爆発の性質

Stクラス

1

蒸発速度

該当しない。

爆発性状

爆発物でない。

分子量

234.25 g/mol

酸化能力

酸化性でない。

揮発物濃度

< 1 % w/w

粘度（粘性率）

該当しない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性

本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性

通常状態で安定。

危険有害反応可能性

危険有害性の重合は発生しない。一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸化剤。強酸。

危険有害な分解生成物

知見なし。

## 11. 有害性情報

急性毒性

情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

皮膚感作性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

生殖細胞変異毒性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

発がん性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

生殖毒性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

誤えん有害性

製品の物理的形態により、吸引力危険有害性ではない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

この製品は成形品であり通常の使用条件下で危険有害性化学物質を放出するとは予想されない。

残留性・分解性

この製品の分解性についてのデータはない。

生態蓄積性

本製品は生物蓄積されるとは予想されない。

土壌中の移動性

この製品は水と混合せず、水系中で沈殿する。

オゾン層への有害性

データなし。

他の有害影響

その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC

該当しない。

コードによるばら積み輸送される

液体物質

国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

#### 通知対象物

該当せず。

#### 表示対象物

該当せず。

### 毒物及び劇物取締法

#### 特定毒物

該当せず。

#### 毒物

該当せず。

#### 劇物

該当せず。

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

#### 第一種特定化学物質

該当せず。

#### 第二種特定化学物質

該当せず。

#### 監視化学物質

該当せず。

#### 優先評価化学物質

該当せず。

### 化学物質排出把握管理促進法

#### 特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

#### 第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

#### 第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

### 消防法

指定可燃物（合成樹脂類 - その他のもの）（許容容量：3000 kg）

### 船舶安全法・危規則

該当せず。

### 航空法・施行規則

該当せず。

### 火薬類取締法

該当せず。

## 16. その他の情報

### 引用文献

ECHA：欧州化学品庁。

IARC発がん性評価モノグラフ

JIS Z 7253：2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252：2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253：2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成した。

この情報は保証なしで提供されます。情報は正しいと考えられます。この情報は、労働者と環境を保護するための方法を自主的に決定するために使用されるべきものです。クラレは、この情報および弊社製品が使用される可能性のある条件についても、弊社の製品と組み合わせて使用される可能性のある他の製造業者の製品についても、それらの全てを予測することは不可能です。製品の取り扱い、保管および廃棄のための安全な条件を確保することは使用者の責務であり、使用者は不適切な使用に起因する損失、傷害、損傷、経費に対して責任を負うものとします。このシートの情報は現在利用可能な最良の知識と経験に基づいて記述されています。